

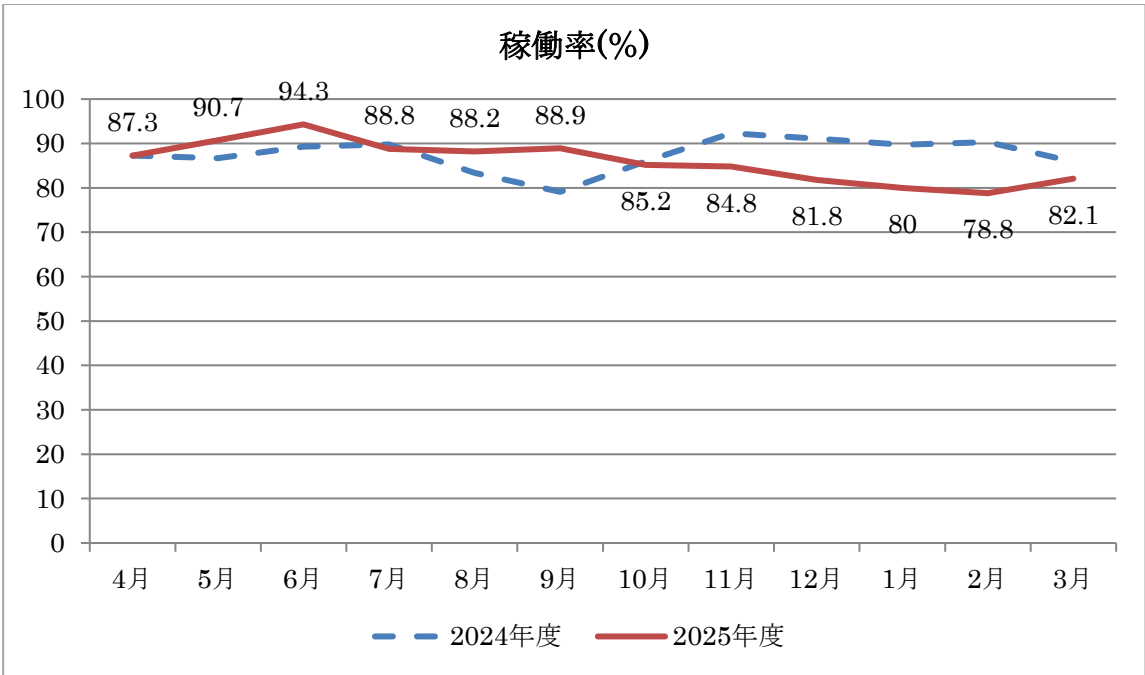
2025 年度
(令和 7 年度)
事 業 報 告

社会福祉法人 悠久会

1. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 長期入所 定員 68 名

(1) 稼働状況 (※短期入所は別に記載)

年月	2025 年(令和 7 年)									2026 年(令和 8 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	1781	1913	1924	1872	1861	1815	1798	1730	1725	1687	1501	1731
100 % 時	2040	2108	2040	2108	2108	2040	2108	2040	2108	2108	1904	2108



年間平均稼働率 86.38% 前年度比 -4.20%

- ・年間入所者数 13 名 ・年間退所者数 19 名(前年度入所 30 名 退所 32 名)
- ・平均要介護度 3.68

○年度前半は入院者数が少なかったこともあり前年度を上回る稼働の月もあった。後半に入り入院者数・退所者数が増加するが、それに新規入所者受け入れが追いつかず稼働が大きく下がってしまいました。

○入院した場合 1 か月以上の長期となるケースが多くあった。

○新規入所者受け入れまでの手続き・調整に時間がかかってしまうことがあり、課題となっている。人員確保と同時に受け入れフローの見直しが必要。

(2) 報告事項・課題点等

①感染症関連

- ・ 9月から10月にかけて施設内で利用者・職員に新型コロナウイルス感染者が発生。大きな感染拡大にはならなかったが、入院となった利用者が退院の見込みなく退所となってしまった。

②事故等

- ・ 転倒・転落による骨折事故 3件あり(行政機関へ報告済)
- ・ その他軽微な事故・ヒヤリハットは多数あり

③職員配置について

- ・ 依然として介護職員数の不足は続いている。特に夜勤の可能な職員数が不足。日中帯も不足している日が増えている。
- ・ 採用活動は行なっているが、退職した分の補充には至っていない。職員の疲弊もあり、新規入所者受け入れに影響が出ることがあった。
- ・ 看護職員は人数の確保はできたが、定着が悪く、年度を通じて入れ替わりが多かった。また派遣職員の割合も多く人件費負担が大きかった。

④研修について

- ・ オンライン研修を実施。基準上必要な研修は満たすことができた。
- ・ さらなる資質・技術向上につながるような研修を実施することはできなかった。

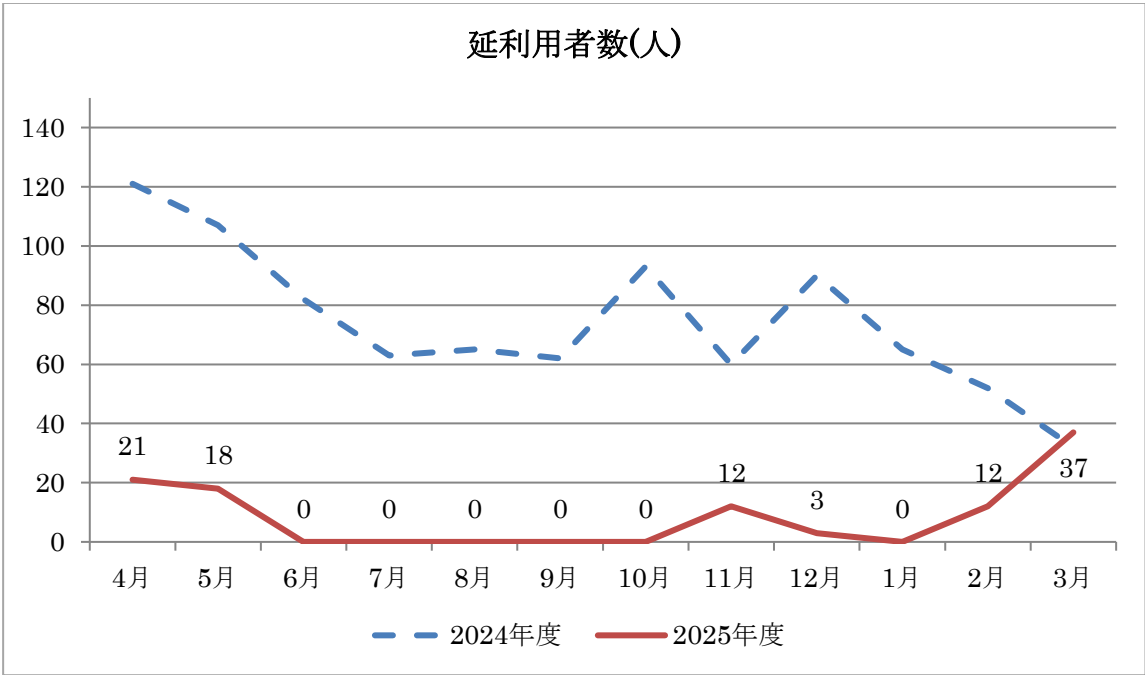
⑤その他

- ・ ベッド等の老朽化が著しく故障・破損が増えている。
- ・ 利用者のスマートフォン持ち込み・使用希望が増加傾向にあり、対応について課題となってきた。

2. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 空床型 短期入所

(1) 稼働状況

年月	2025 年(令和 7 年)									2026 年(令和 8 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	21	18	0	0	0	0	0	12	3	0	12	37



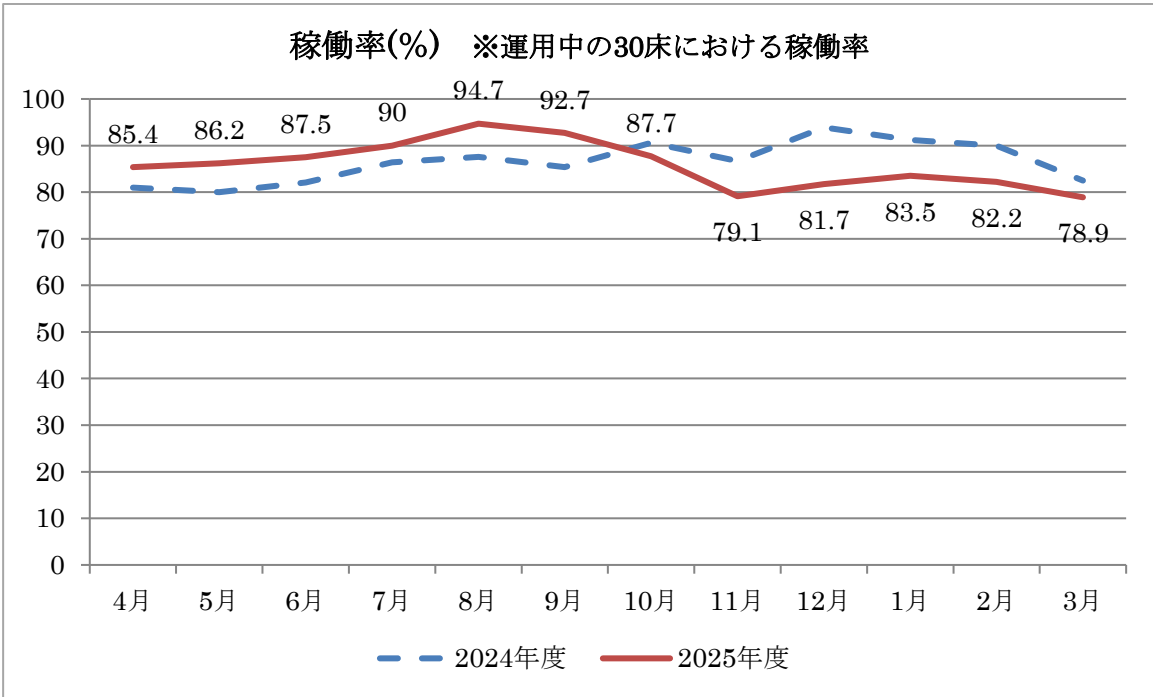
- ・年間延べ利用者数 103 名（前年度 892 名）
- ・平均要介護度 3.00

○職員不足などを理由としてほぼ空床短期入所を活用できなかった。

3. ユニット型特別養護老人ホーム八千代城 定員 45 名

(1) 稼働状況 ※職員数不足により 45 床中 30 床のみ運用中

年月	2025 年(令和 7 年)									2026 年(令和 8 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用 者数	739	802	788	837	881	835	816	712	760	777	691	734
30 床 満床時	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930
45 床 満床時	1350	1395	1350	1395	1395	1350	1395	1350	1395	1395	1260	1395



年間平均稼働率 85.86% 前年度比 -0.63%

- ・年間入所者数 8 名 ・年間退所者数 11 名 (前年度 入所 12 名 退所 8 名)
- ・平均要介護度 3.16

○入院者数が少なかった(入院者 0 名の月もあり) こともあり、年度前半は前年度よりも良い稼働となった。

○年度後半は入院者や入院から退所に至るケースが多かった。入所希望者の獲得が進まなかったことから退所分を埋めるまでに時間を要し、稼働が大きく低下してしまった。営業活動の継続とともに再度紹介会社の利用も検討していく必要あり。

(2) 報告事項・課題点等

①感染症関連

- ・8月下旬から9月上旬に施設内で新型コロナウイルス感染者の発生があったが、早期の対応で比較的短期間・少人数で収束した。

②事故等

- ・転倒転落等の事故により受診したケース4件あり(行政機関へ報告済)
- ・その他軽微な事故・ヒヤリハットは多数あり

③職員配置について

- ・介護職員数の配置に余裕がない状態が続いている。
- ・看護職員は人数の確保はできたが、定着が悪く、年度を通じて入れ替わりが多かった。また派遣職員の割合も多く人件費負担が大きかった。

④研修について

- ・オンライン研修を実施。基準上必要な研修は満たすことができた。
- ・さらなる資質・技術向上につながるような研修を実施することはできなかった。

⑤その他

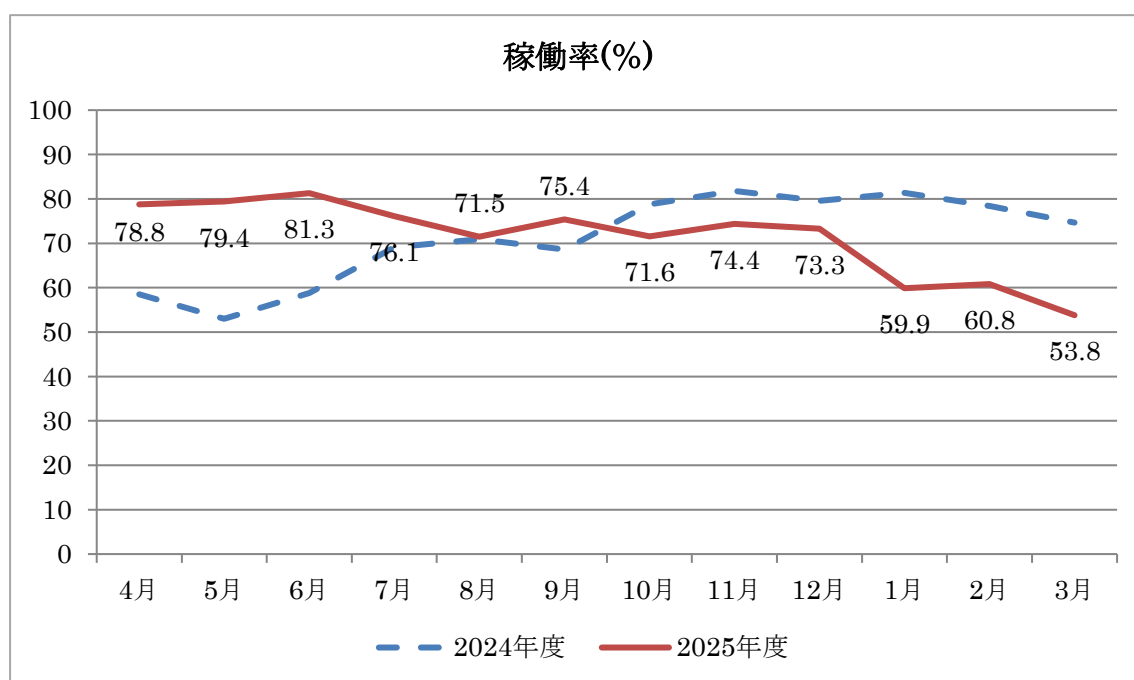
- ・新館も開設から14年程度経過しており、設備のが老朽化が進みつつある。計画的に設備更新を検討していく必要がある。
- ・スマートフォンの持ち込みを希望される入所者が増えてきている。今後の運用を検討していく必要がある。
- ・記録システム導入を以前検討したが、停滞状態にある。業務負担軽減に向けて動きを再開する必要あり。

4. 八千代城デイサービスセンター

定員 18 名/日

(1) 稼働状況

年間営業日数	308 日
延べ利用者数	3,966 人
100%稼働時延べ利用者数	5,544 人
1 日あたり平均利用者数	12.8 人
年間稼働率	71.53%
平均要介護度(2025 年 3 月)	要介護 1.9
登録利用者数 (2026 年 3 月現在)	27 名



- ・ 年間平均稼働率 71.53% 前年度比 +0.5%
- ・ 新規利用者数 11 名 利用廃止者数 11 名 (前年度新規 21 名 廃止 15 名)

○年間平均では前年度と同程度の稼働率であった。前年度も低稼働であり、低い稼働が続いている。特に年度終盤は施設入所や入院で利用終了・休止になる利用者が相次ぎ大きく稼働が低下した。

○新規利用者の獲得が伸びなかったことで、利用終了・休止分をスムーズに埋めることができなかった。
年度当初に担当相談員が変更となり、営業活動が滞ってしまったことも影響したと思われる。営業活動を再開してから問い合わせが増加するなど反応が見られる。

（２）報告事項・課題点等

○広報活動

SNS による発信や広報誌の発行などがここ数年できていない。必要の可否を含め検討が必要。

○事故

- ・ 医療機関を受診した事故 1 件（転倒）（行政機関報告済）
- ・ ヒヤリハット・医療機関受診を要しなかった軽微な事故 7 件

○苦情等

- ・ 苦情 3 件（主に職員の対応について）
- ・ 接遇や認知症への対応等について今一度研修等により再確認・向上し、事故や苦情を減少させる必要がある。

○行事等

- ・ 定期的なボランティアの受け入れ実施。
- ・ 外出行事も実施することができた。

○運営推進会議

- ・ 集合・対面の形で実施。（2 回）
- ・ 現在グループホームと合同で実施しているが、参加者には分けて実施した方がそれぞれのサービスについてより分かりやすいのではないかとも思われる。次年度開催時に検討する。

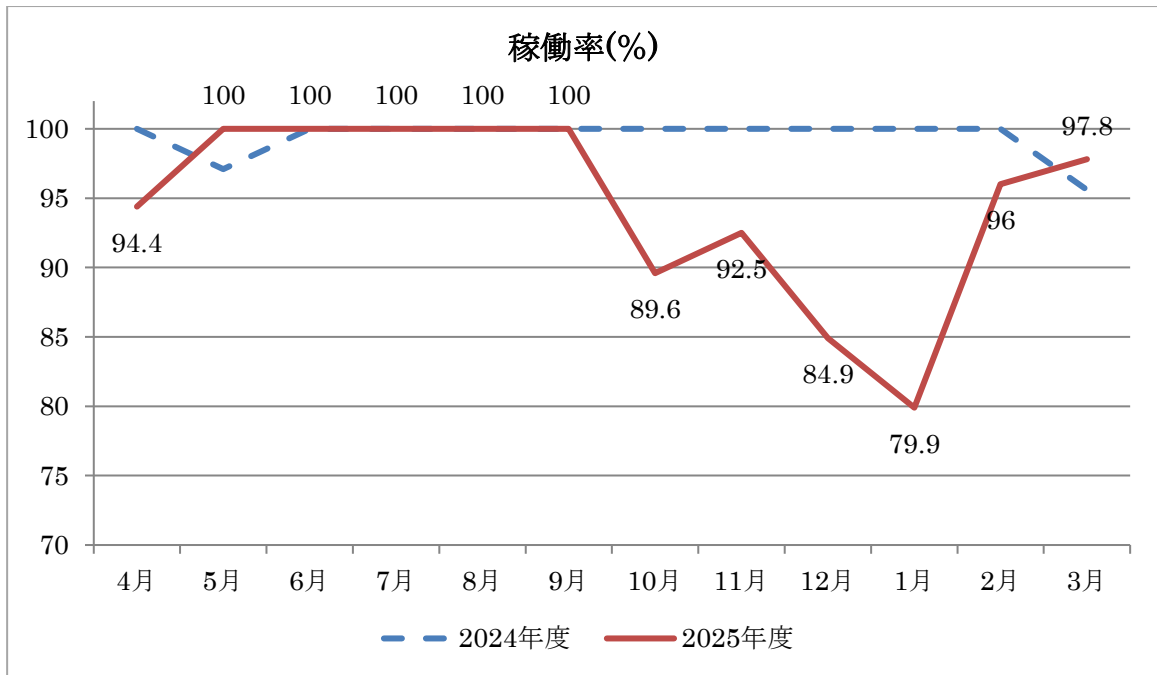
○実習生受入

- ・ 介護等体験実習生 25 名受入

5. グループホーム悠々やちよ 定員 9 名

(1) 稼働状況

年月	2025 年(令和 7 年)									2026 年(令和 8 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用 者数	255	279	270	279	279	270	250	250	237	223	242	273
100 % 時	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279



年間平均稼働率 94.58% 前年度比 -4.81%

- ・入居 2 名 退居 3 名 (前年度 入居 2 名 退居 3 名)
- ・平均要介護度 2.30 (前年度 2.09)

○10 月から 11 月入院が生じ、稼働が低下。

12 月以降入居者の退居・入居の入れ替わりあり。退居後次の入居者が入るまでに時間を要した時もあり稼働が低下。

○退居理由

- ・重度化の為、介護保険施設へ異動 2 名
(1 名は当法人ユニット型特別養護老人ホームへ)
- ・長期療養の為、医療機関へ異動 1 名

○相談・問い合わせはあるも待機者はほぼいない状況。

(2) 報告事項・課題点等

○入居者状況

- ・感染症の施設内発生はなし

○八千代市による実地指導 令和8年1月実施

- ・特に指摘事項はなし

○職員状況

- ・年度末時点で、必要な人数を確保できている。有給休暇取得もできている。
- ・離職等ないように引き続き職場環境の整備に努める。

○事故等

行政機関への報告を要する事故 2件

医療機関受診を要しない転落・転倒などの事故は複数件あり。

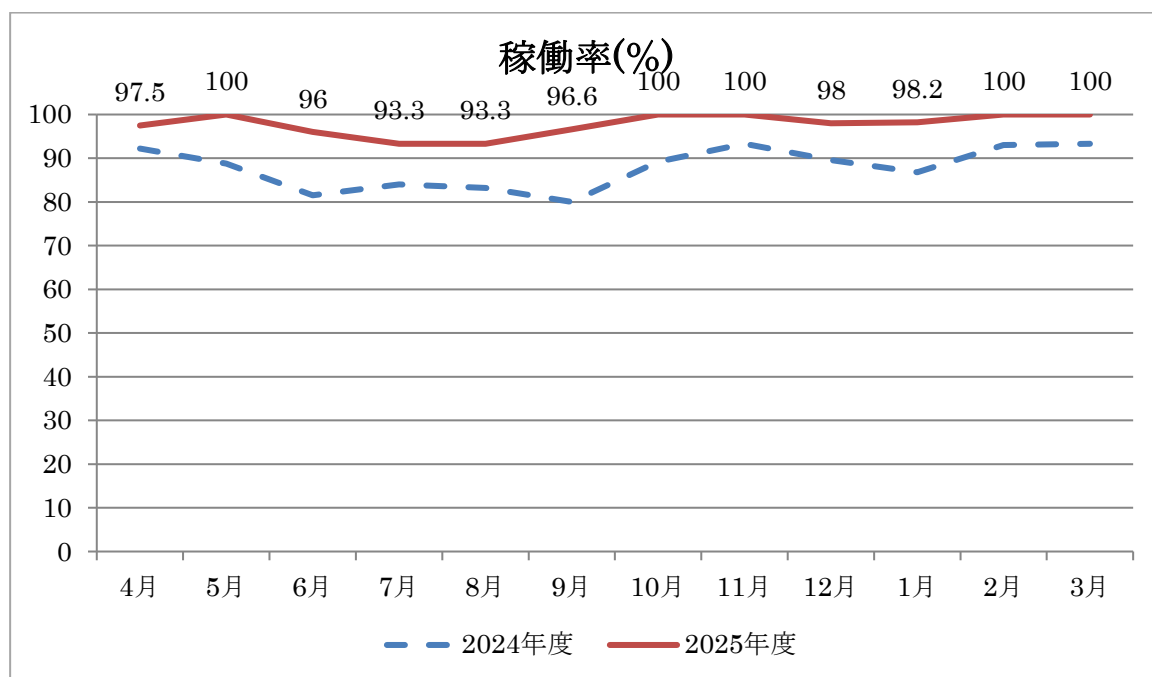
○その他報告事項

- ・運営推進会議…集合にて実施(6回)
- ・法定研修については計画に基づきオンラインにて実施

6. ケアハウス青空

定員 15 名

(1) 稼働状況



年間平均稼働率 97.75% 前年度比 +9.83%

入所 2名 退所 1名 (前年度 入所 5名 退所 4名)

2026年3月末現在 入居者数 15名

- ・前年度に比べ入居者の入れ替わりも少なく、100%に近い平均稼働率となった。
- ・個人での問い合わせや紹介会社を通じた問い合わせなど随時ある状況

(2) 報告事項・課題点等

○職員状況

- ・生活相談員1名 介護職員2名体制
- ・年度途中介護職員1名入れ替わりあり。

○行事・レクリエーション等

入居者の気分転換も兼ね季節に応じた外出行事を行うことができた。

また、施設内におけるレクやクラブ活動なども随時実施。

入居者数増加に伴い興味・好みが多様化してきているので、バリエーションを増やすなどの必要がある。

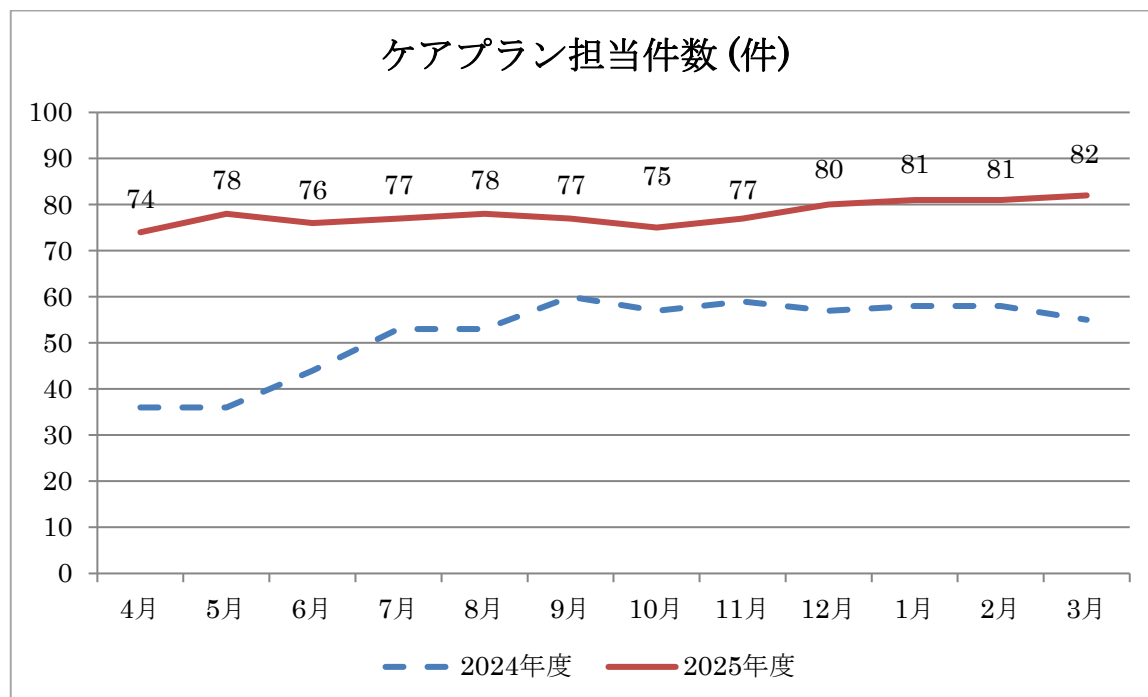
○課題等

- ・入居者数が増えるに伴い、入居者間のトラブルや入居者と職員間でのトラブルが増えてきている。都度職員が介入し対応に努めている。
- ・接遇見直しの為、研修を行う必要がある。

- ・施設全体に給湯しているボイラー設備の老朽化の影響で浴室の湯温が安定せず、入浴に影響が出ることがある。

7. 八千代市在宅介護支援センター八千代城

(1) 稼働状況 (※含む予防)



- ・ 前年度から継続の介護支援専門員 2 名体制であり、前年度よりも担当件数を増加させることができた。
- ・ 地域包括支援センターからのケース紹介や他事業所からの引継ぎケースも多く、担当件数増につながった。
- ・ 認定調査については積極的に受けるよう努めた。

(2) 報告事項・課題点等

○各種研修会の参加に努め、ケアマネジメントの質の向上や地域交流につなげることができた。

- 主な参加研修
- ・ 市地域包括支援センター主催ケアマネジメント研修
 - ・ 県地域包括・在宅介護支援センター協会主催研修
 - ・ 八千代ケアマネネットワーク主催研修会 等

○苦情受付 1 件